

所 属	教育委員会 社会教育文化課		
担当(係)名	伝統文化財担当	内 線	3 5 7 7

(款)10教育費	(項)7社会教育費	(目)(4)社会教育施設費
(明細書事業名) 博物館費 博物館特別展開催事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

12,000

2 当初予算(決定)額(千円)

12,000

(前年度12,000)

【財源内訳】

一般財源

その他

9,916

2,084

3 事業概要

平成15年度岐阜県博物館特別展として、次の特別展を開催します。

1「昭和、くらしの歩み～30年代を中心に～」(仮称)

<期日>平成15年7月19日(土)～平成15年9月7日(日)

<会場>岐阜県博物館

<主催>岐阜県博物館

<入館料(常設展示を含む)>(20名以上の団体料金)

一般 600円(520円) 大学生 300円(200円)

高校生 200円(150円) 小中生 150円(100円)

<内容>

平成の時代になって十余年、世紀の変わる頃から「昭和」ブームが起こり、特に昭和30年代のくらしや文化に対する人々の関心が高まってきました。この展覧会では、昭和30年代を中心に昭和のくらしに係る資料を展示し、当時の生活の様子とその変遷や人々の工夫などについて紹介します。

<入館者の見込数>13,000人程度

<開催日数>44日間

<1日目標入館者数>300人程度

2「野の幸、山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」(仮称)

<期日>平成15年9月27日(土)～平成15年11月24日(月)

<会場>岐阜県博物館

<主催>岐阜県博物館

<入館料(常設展示を含む)>(20名以上の団体料金)

一般 600円(520円) 大学生 300円(200円)

高校生 200円(150円) 小中生 150円(100円)

<内容>

岐阜県は豊かな自然に恵まれており、皆さんの「キノコと山菜、薬草」への関心も高いものがあります。この展示ではこうした自然の恵みと「ふるさと岐阜」の自然の素晴らしさを併せて紹介します。

<入館者の見込数>15,000人程度

<開催日数>51日間

<1日目標入館者数>300人程度

4 施策の効果

1「昭和、くらしの歩み～30年代を中心に～」(仮称)

現代につながる文化創造の歴史を、身近な生活に根差した文化財を通して紹介することにより、21世紀の郷土文化・生活文化の発展に向けて、県民の文化意識の高揚

を図ります。

2「野の幸、山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」(仮称)

来館者の方々に自然、大地からの恵みであるキノコと山菜、薬草とのふれあいのすばらしさを再認識・再発見してもらいます。

5 要求の内容

1「昭和、くらしの歩み～30年代を中心に～」(仮称)

1 展示構成(予定)

- ・第一部 電化の時代へ
- ・第二部 生活用具のいろいろ
- ・第三部 子どもたちの世界
- ・第四部 岐阜県の昭和

2 主なイベント(予定)

- ・講演会「昭和の子どもたち」(仮)
- 「昭和街角博物館の挑戦」(仮)
- ・たのしい博物館「むかしの遊びを体験しよう」(仮)

2「野の幸、山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薬草の魅力～」(仮称)

1 展示構成(予定)

- ・野山の恵みを代表するキノコたち
- ・ちょっと変わったキノコたち
- ・山の香りいっぱいの山菜たち
- ・身近な里の食べることのできる山菜たち
- ・自然がくれた天然の良薬、薬草たち
- ・気をつけよう！毒キノコと毒草
- ・たわわに実る木の実・草の実たち
- ・人とのかわり「高山朝市、果実酒、草木染め、薬草弁当、キノコ料理など」

2 主なイベント(予定)

- ・特別講演会「山菜薬草の無限の魅力」(仮)
- 「産物帳に登場する植物とその方言名」(仮)
- ・自然観察会「山菜、薬草ウォッチング」(仮)
- ・楽しい博物館「キノコ探検隊、キノコと山菜など」(仮)